

日 時：平成27年9月17日(木)

13:30～15:00

場 所：602会議室

【出席者】 金澤部会長、山本副部会長、岩間委員、田島委員、岩岡委員、花岡委員、  
小林壽夫委員、土屋やよい委員、篠原委員

【事務局】 佐藤課長、若林課長補佐（企画調整係長）、小林、大井、山口

1 開会

2 部会長挨拶

3 自己紹介

4 議 事

(1) 「市民アンケート結果の推移」の検討について

(2) 「目標」の進行状況の評価及び今後の方針の検討について

・事務局より、審議の進め方及び審議資料の見方について説明。

(資料1、資料2-1)

・事務局より、第一次佐久市総合計画後期基本計画の第2章・第3章に掲げられた「アンケート結果」、「目標」について施策毎に説明。その後、部会において審議。

(資料2-2)

ア 資料の見方に関する質問・意見

なし

イ 第2章 質問・意見

(部会長)	資料2-2P23 施策名：福祉のまちづくり 福祉体験教室の開催数は増やせるとは思いますが、学校との調整が必要になりますか。
(事務局)	総合学習の時間が減ってきておりますので、学校との調整が必要になります。
(委員)	福祉体験教室を学校独自に実施していることは良いことだと思います。これも実績と言えるのではないのでしょうか。
(事務局)	実績としてのカウントの仕方は、考慮するよう担当課に伝えます。

(部会長)	<p>それでは、記載されている内容で進めていただくということによろしいでしょうか。</p>
(部会長)	<p><b>資料 2-2 P 24 施策名：高齢者福祉・介護保険</b></p> <p>市民アンケート結果と実績値にずれがありますが、どのように評価すれば良いですか。</p>
(事務局)	<p>市民アンケートは施策全体の高齢者福祉・介護保険という大きな枠の施策をアンケートの項目として、重要度や満足度を問わせていただいたものです。目標値は、施策の中の特徴的なものを目標として掲げて事業として取り組んでいるものです。ですから、市民アンケート結果と事業の目標値との推移は必ずしも一致しません。こちらでご審議いただきたいのは、それぞれの結果の分析の妥当性を評価いただければと思います。</p>
(委員)	<p>介護予防事業の延べ参加者数ですが、目標達成ということで進捗管理としてはこれで結構だと思いますが、寝たきり予防として重要な施策なので、今後第二次の総合計画を作る際は、さらに目標水準を上げていただきたいと思います。</p>
(部会長)	<p>さらなる努力は必要だと思います。ただ今出された意見は、部会報告の意見として付記したいと思います。</p>
(委員)	<p><b>資料 2-2 P 25 施策名：障害者福祉</b></p> <p>平成 26 年の目標値は 14 で順調ということですが、平成 28 年度末の目標値が 20 というのは逆に高いのではないのでしょうか。</p>
(事務局)	<p>目標値は、後期基本計画を策定する際の値が 5 となっておりますが、法律改正等社会情勢の変化を踏まえ、それぞれの数値を当時の総合計画審議会でご審議をいただき設定しました。平成 26 年度の評価は順調となっておりますが、第二次の総合計画を策定する際の目標設定の方法については、様々なご意見をいただく中で検討していきたいと思っております。</p> <p>平成 28 年度末の目標値については、策定当時の状況から設定したもので、目標値の妥当性については、今後第二次の総合計画を作る際によく検討していきたいと思っております。</p>

(委員)	小諸養護学校の卒業生を受け入れる場所がなくなってきています。第二次の総合計画を作る際に検討していただきたいと思います。
(委員)	平成 26 年の数値 14 は少ないと思います。需要も増えていますのでもっと実施する施設が増えても良いのではと思います。ただし、目標は高い方が良いですが、あまり現実とかけ離れても厳しいと思います。
(部会長)	需要を見極めることが、目標設定において重要かと思います。目標をあげてほしいという意見があったということは、第二次総合計画を作る際に検討をお願いしたいと思います。
(委員)	ラジオで障がい者施設を出た方が、介護福祉士の資格を取るための学校ができたと聞きました。佐久市でもそういった施設について検討して欲しいと思います。
(事務局)	いただいたご意見は、担当課に伝えさせていただきます。
(部会長)	それでは、こちらについては記載のとおり進めていただくということでよろしいでしょうか。
(委員)	資料 2-2 P 26 施策名：母子父子福祉・低所得者福祉 達成率は良いが、目標値が低すぎると思います。
(事務局)	今後、第二次総合計画を作る際には、ニーズがどこにあるか、このままの形で良いのか見ながら目標の設定をしていきたいと思います。
(部会長)	希望者がどれくらいいるのか分かりませんか。
(事務局)	申請いただいた方は、ほぼ全員受給していると聞いております。ただ、受給者が少ないのは、お支払いするのが学費なので、その間の生活保障の部分に問題があると聞いています。
(部会長)	ニーズを捉えて、第二次総合計画を作る際にはもう少し枠を増やしていただきたいと思います。

	資料 2-2 P 27 施策名：健康増進
	ぴんころステーション延べ参加者数
(委員)	食改での仕事としてはかなり増えているのに、実績が減っているのはなぜでしょうか。
(事務局)	結果の分析にありますように、栄養士会佐久支部と分担して実施することとしたことで、市として開催する回数が減ったためだと思われます。
(委員)	栄養士会佐久支部で実施しているものも、市として実施しているので、実績値にカウントされているのではないのでしょうか。
(事務局)	担当課にカウントの仕方を確認し、次回ご報告いたします。
(委員)	ぴんころステーションは老人会でも使わせていただいています。市から文書を出すなど、PRをもっとしていただきたいと思います。
(委員)	コミュニティーレベルで活発化することが大事なので、保健補導員の協力を得られるような努力をしていただきたいと思います。
(部会長)	広報や色々な会議に赴き、何か動くことが必要と思います。
(委員)	先日、ぴんころの会議に出席した際、地区ごとの実施にむらがあると聞いています。
(部会長)	地域差があるかは調査していただき、認知度、参加者が少ないところに特に協力する工夫をしたら良いと思います。出された意見は、部会報告の意見として付記したいと思います。
	3歳児のむし歯保有率
(委員)	結果の分析に記載されている、「むし歯保有率が高くなったが、改善されている」という表現はおかしいと思います。判定の基準を出して表現したらどうでしょうか。
(事務局)	分析結果を担当課に戻し、再度検討した結果を次回ご報告いたします。

	資料 2-2 P 28 施策名：保健活動
(部会長)	個別の医療機関との連携は難しいと思います。予防事業を行うだけの余裕がないと思います。むしろ、医師会との連携が良いのではないのでしょうか。忙しい 40、50 代を対象にしているので難しいと思いますが、医師会や栄養士会とチームを組むような形で取り組んでほしいと思います。将来、具合が悪くなるよと話しても、今、具合が悪くなければなかなか来てくれないのが現状で、難しいです。
(委員)	事業所や、健保連なんかの活動はどうでしょうか。
(部会長)	社保等も保健予防活動をやっているところは多いです。良いことだと思います。
(部会長)	ただ今出された意見は、部会報告の意見として付記したいと思います。
	資料 2-2 P 30 施策名：医療保険・国民年金
(委員)	国民健康保険税の収納率 100%にするという目標は、難しいことを目標にしたと思いますが、目標の項目はどういう基準で選定されたのでしょうか。
(事務局)	前回の計画時に初めて数値目標を設定し、国民健康保険税についてはかなり議論をしました。行政として収納率 98%を良しとすることは困難ということで、限りなく難しいけれども 100%に設定してあります。
(委員)	この目標が 100%じゃないと、それは公平とは言えないと思います。何%は払わなくて良いというのは、良くないでしょう。
(部会長)	市として収納率を上げるというのは当たり前の施策だと思います。もっと分かりやすく希望のあるような目標を立てる工夫も必要かと思います。
(事務局)	目標自体の変更はできませんので、今回はこの項目で検討をお願いします。今後、第二次総合計画を作る際に、項目や数値についてのご意見は生かさせていただきます。
(部会長)	それでは、記載内容については、このとおりに進めていただくということでよろしいでしょうか。

(3) その他

- ・次回会議の日程について連絡

次回は

- ・残りの項目（第4章「チャレンジ！！」の進行状況の評価及び今後の方針の検討及び第5章）については、次回の部会にて審議する。

5 閉 会